

岡安証券

～注目・外株銘柄～

(2024年10月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年9月27日現在)

<追加>

- P1【半導体】 ラムリサーチ (LRCX)
- P2【通信大手】 ベライゾン・コミュニケーションズ (VZ)
- P3【製薬大手】 ファイザー (PFE)
- P4【公益】 ネクステラ・エナジー (NEE)

<継続>

- P5【マグニフィセント7】 エヌビディア (NVDA)
- P6【マグニフィセント7】 マイクロソフト (MSFT)
- P7【マグニフィセント7】 アップル (AAPL)
- P8【マグニフィセント7】 アルファベット (GOOGL)
- P9【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム (AMZN)
- P10【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ (META)
- P11【マグニフィセント7】 テスラ (TSLA)
- P12【製薬大手】 イーライ・リリー (LLY)
- P13【医療機器】 インテュイティブ・サージカル (ISRG)
- P14【半導体設計】 アーム・ホールディングスADR (ARM)
- P15【半導体】 ブロードコム (AVGO)
- P16【半導体】 マイクロン・テクノロジー (MU)
- P17【ITサービス】 IBM (IBM)
- P18【動画配信】 ネットフリックス (NFLX)
- P19【ネットサービス】 メルカドリブレ (MELI)
- P20【エネルギー】 キンダー・モルガン (KMI)

<追加>

- 半導体製造装置(前工程)大手
- 米携帯電話加入件数首位の通信大手
- 新型コロナ・ワクチンからがん・心臓病薬まで開発する製薬大手
- 環境配慮型の発電に特化する電力会社

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 肥満症薬で注目される米製薬大手
- 外科手術ロボット「ダビンチ」を開発・製造
- 省エネ型の半導体設計技術を提供
- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
- 米半導体メモリ大手
- 連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
- 動画配信の世界最大手
- 南米拠点の電子商取引・決済サービス大手
- 北米最大級の天然ガス等のパイプライン運営企業

半導体前工程のエッチング装置の世界大手、超高速DRAM(HBM)関連投資で恩恵

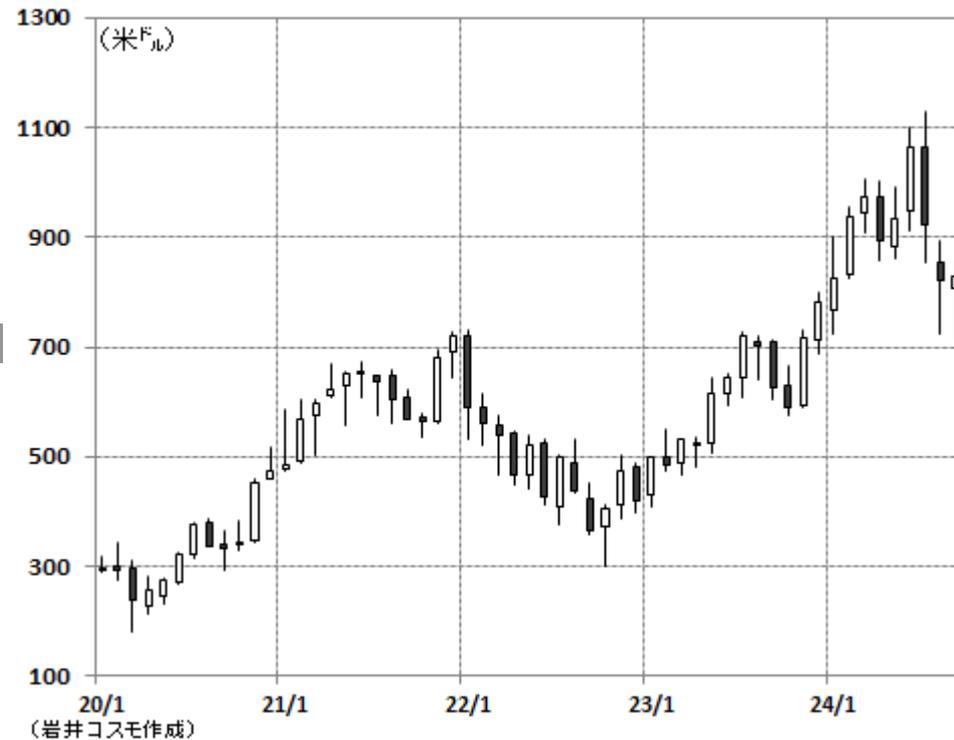
会社概要

半導体製造装置大手。半導体製造の前工程の精密な凹凸を形成するエッチング装置で世界トップシェアを誇る。ほか成膜やウェハ-洗浄等の機器も手掛ける。同社製ウェハ-加工装置を使い半導体メーカーはより小型、高速かつ高性能な電子デバイスを作れる。競合にアプライト・マテリアルズ、東京エレクトロン等。1980年設立、本社はカリフォルニア州・フリスモント、従業員数は約17,450人(24年6月時点)。

注目ポイント

□ **半導体構造の複雑化が需要拡大要因**: AI半導体など高性能なロジック系半導体は構造が複雑化し、各製造工程において不純物を完全に除去することが必須、同社の高性能・高品質の製品需要の増加要因となっている。マイクロンやSKハイニックスなど半導体メモリ各社は広帯域メモリ-(HBM)の量産化を進めており、同社製の電解めつき装置やエッチング装置等の活躍が期待される。

□ **大規模自社株買いと株式分割を発表**: 5月21日に100億ドルの自社株購入プログラムを発表すると同時に、1対10の株式分割を行うと発表、分割落ち日は10月3日の予定。ラムリサーチはフリーキャッシュフローの75~100%を株式還元する方針を持っている。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	827.12 (09/27)
52週高値(日付)	1130 (24/07/11)
52週安値(日付)	576 (23/10/31)
時価総額	1,072億ドル 15兆2,455億円
株価変化率(%)	-14.9 (過去6ヶ月間) 32.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.5 (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	12.6 (倍)
税前配当利回り(%)	1.11 (直近年率)
配当成長率(%)	15.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	45.7 (%)
株式ベータ	1.74 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	17,429	1	5,175	-4	4,511	-2	33.21	6.900
2024/06	14,905	-14	4,264	-18	3,828	-15	29.00	8.000

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	3,207	—	855	—	803	—	5.97	1.725
2024/Q4	3,872	21	1,127	32	1,020	27	7.78	2.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

配当による株主還元重視する米携帯電話加入件数首位の通信大手

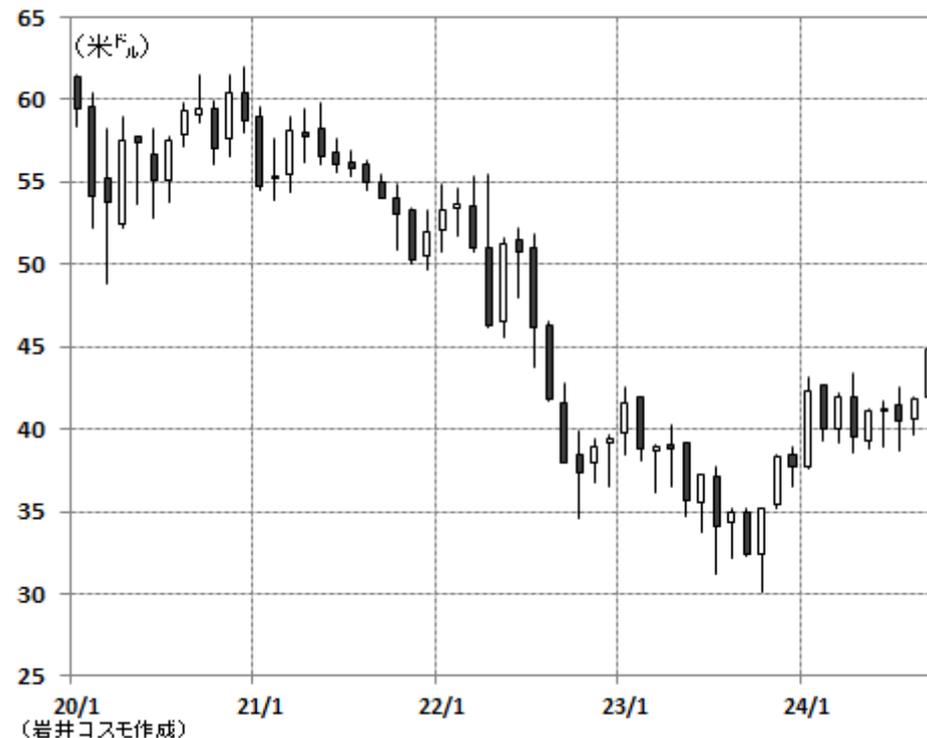
会社概要

固定・携帯通信双方を手掛け、消費者とビジネス向けにサービスを展開。同社は携帯加入者数首位で、TモバイルUS、AT&Tと並ぶ通信3強を形成。24年6月末の携帯端末(後払い方式)の契約件数は1.24億件。固定通信事業では消費者向けに音声通話・ネット回線等を法人向けにはデータセンター等も提供。本社はニューヨーク、社員数は約103,900名(24年6月末)。NYダウ工業株30種平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **新携帯料金プランが奏功**: 23年5月より新料金体系「マイプラン」を開始、オプション別の3種類の5G通信パケット無線通信プランからなり、月額プラス10ドルでアップルやディスニー+等の各社のサブスクを利用でき、家族内でも個人単位で選択できる。利用者の好評を博し契約者純増に貢献している。

□ **業界最長の増配を発表**: 9月4日に連続増配で米通信業界最長となる18年連続増配を発表、24年の設備投資額は前期比約1割減の170億~175億ドルの見込みと、配当の原資となるフリーキャッシュフローは創出しやすい。同社は配当による株主還元を重視している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	44.89 (09/27)
52週高値(日付)	45.045 (24/09/16)
52週安値(日付)	30.14 (23/10/06)
時価総額	1,890億ドル 26兆8,728億円
株価変化率(%)	7.0 (過去6ヶ月間) 38.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	10.1 (倍)
株価売上高比率	1.4 (倍)
PBR	2.0 (倍)
税前配当利回り(%)	6.04 (直近年率)
配当成長率(%)	1.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.8 (%)
株式ベータ	0.64 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	136,835	2	30,467	-6	21,256	-4	5.06	2.5850
2023/12	133,974	-2	22,877	-25	11,614	-45	2.75	2.6350
四半期業績								
2023/Q2	32,596	—	7,220	—	4,648	—	1.10	0.6525
2024/Q2	32,796	1	7,818	8	4,593	-1	1.09	0.6650

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米製薬大手、新型コロナ関連依存から脱却、がん・心臓病薬等が好調

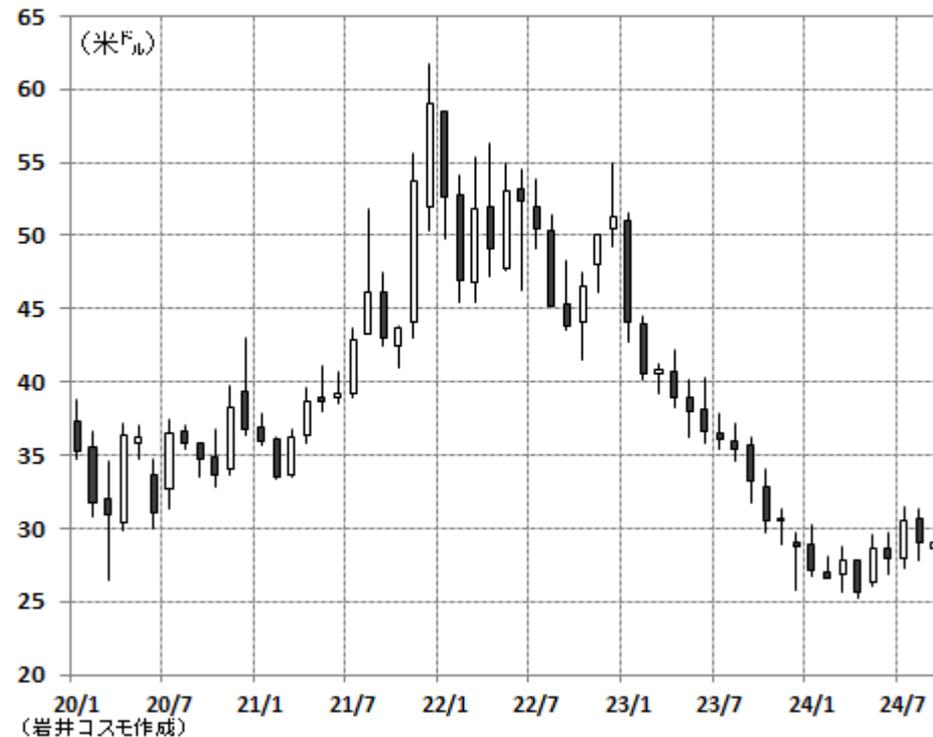
会社概要

販売力に定評のある米製薬大手。近年は新型コロナのワクチン、抗ウイルス薬で存在感を示す。M&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行し、2019年に消費者向けヘルスケア部門を非連結化、20年に特許切れ部門を分離し、新薬開発・販売に傾斜。23年12月には米シ-ジェン社を買収、がん分野を強化した。本社は、ニューヨーク、社員数は約88,000名(23年末時点)。

注目ポイント

□**コロナ関連大幅減もがん・心臓病薬の伸長で相殺**：4-6月期の新型コロナのワクチン・抗ウイルス薬以外の為替変動除く増収率は前年同期比14%増を記録。主力の血液の抗凝固薬「エリキュス」の成長に加えて旧シ-ジェン社のがん治療薬「パドセブ」、片頭痛予防薬「ニューテック」、末梢神経障害の進行を抑制する「ヒンダケル」等が好調だった。

□**通期見通しを上方修正**：コロナ抗ウイルス薬の想定以上の売上とストラ計画の進展を理由に今期見通しを引き上げ、売上高を595億-625億ドル、調整後1株利益を2.45~2.65ドルとした。電話会議では配当維持または増加方針の資本政策が再確認された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	29.09 (09/27)
52週高値(日付)	34.105 (23/10/03)
52週安値(日付)	25.21 (24/04/26)
時価総額	1,648億ドル 23兆4,425億円
株価変化率(%)	4.8 (過去6ヶ月間) -12.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	42.1 (倍)
株価売上高比率	3.0 (倍)
PBR	1.9 (倍)
税前配当利回り(%)	5.77 (直近年率)
配当成長率(%)	2.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-2.8 (%)
株式ベータ	0.53 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	100,330	23	34,729	43	31,372	43	5.47	1.61
2023/12	58,496	-42	1,058	-97	2,119	-93	0.37	1.65

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	13,007	—	2,269	—	2,327	—	0.41	0.41
2024/Q2	13,283	2	-103	赤転	41	-98	0.01	0.42

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

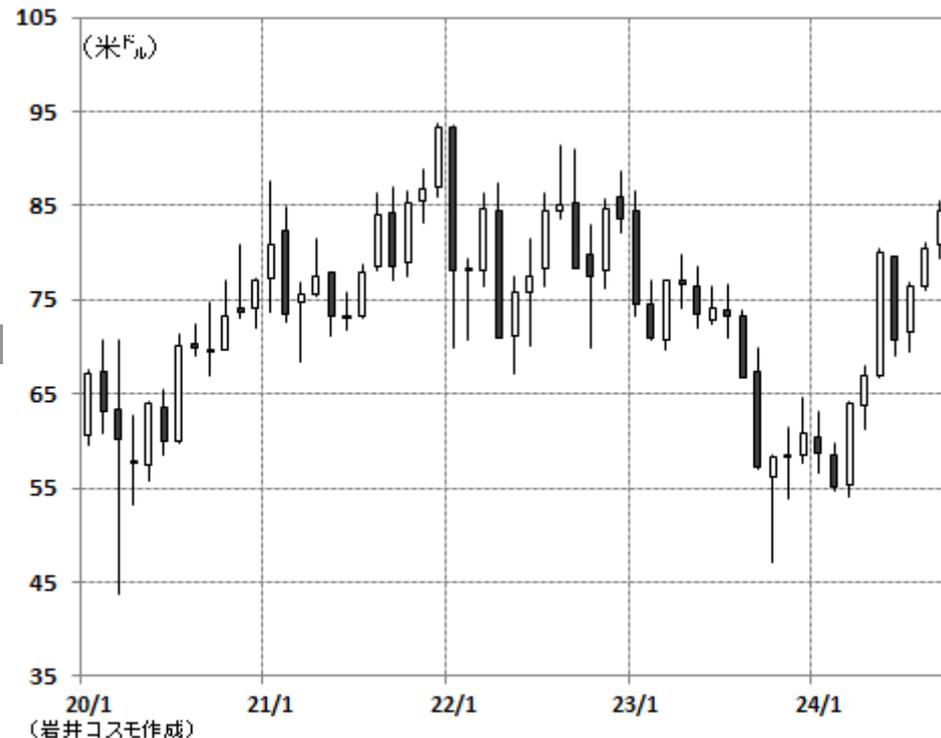
会社概要

北米最大級の電力・エネルギー・インフラ企業。1,200万人以上の住民を抱えるフロリダ州の電力会社フロリダ・パワー＆ライト(FPL)と米国・カナダで発電事業を行うネクステラ・エナジー・リソース(NEER)が中核企業。2019年にフロリダ州の別の電力会社ガルフ・パワーを買収。FPLは天然ガス火力を中心に太陽光や原子力発電も手掛ける。S&P500配当貴族指数構成銘柄。2026年までの年間増配率目標約+10%を標榜。

注目ポイント

□**環境配慮型のNEER**: NEERは環境配慮型発電に注力、NEERの発電量の68%が風力、14%が太陽光と全発電量の5分の4が再生可能エネルギーに占める。これらの発電コストは年々低下し、経済合理性が高まり、23年度のNEERの営業利益は全体の4割を占めた。

□**AI普及で電力需要増加**: AIの普及に伴うデータセンターで消費される電力や、近隣国の生産拠点移転を背景した暖房・輸送用の電力が長期的に伸びると予想される。23年に不安視されたFPLの選挙法違反を巡るスキャンダルは、今年3月に米当局調査の結果、違法性となしと判断。企業統治の信頼が回復すると見られる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	84.54 (09/27)
52週高値(日付)	85.56 (24/09/16)
52週安値(日付)	47.15 (23/10/06)
時価総額	1,737億ドル 24兆7,061億円
株価変化率(%)	32.3 (過去6ヶ月間) 47.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	24.2 (倍)
株価売上高比率	6.7 (倍)
PBR	3.5 (倍)
税前提当利回り(%)	2.44 (直近近年率)
配当成長率(%)	10.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	13.5 (%)
株式ベータ	0.64 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	20,956	23	4,081	40	4,147	16	2.10	1.70
2023/12	28,114	34	10,237	151	7,310	76	3.60	1.87
四半期業績								
2023/Q2	7,349	—	2,799	—	2,795	—	1.38	0.4675
2024/Q2	6,069	-17	1,670	-40	1,622	-42	0.79	0.5150

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

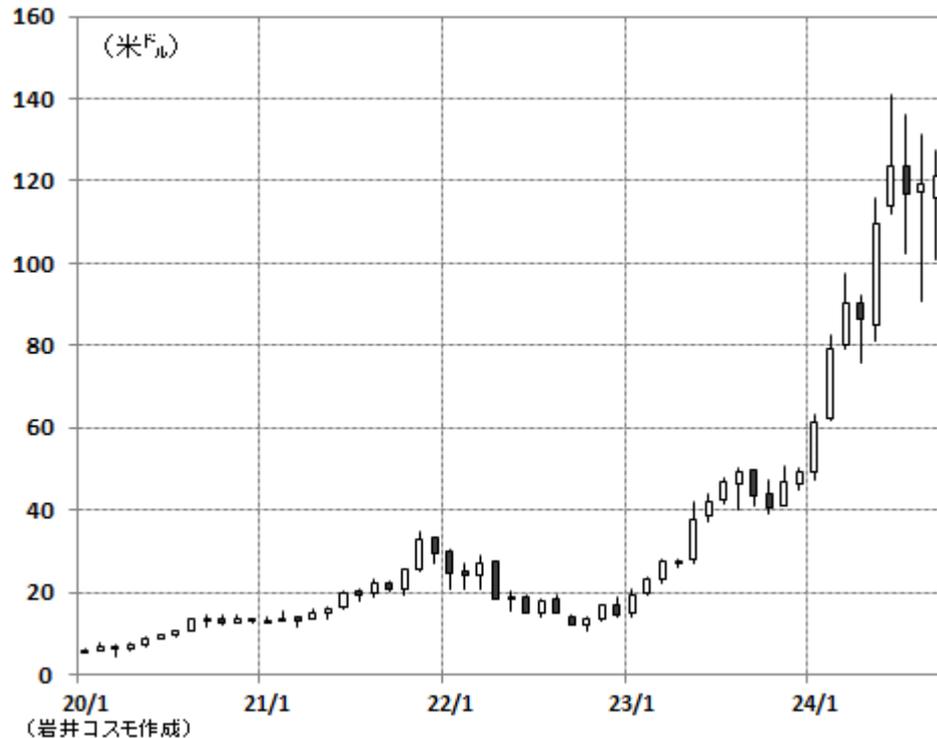
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権を握る**: 人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発。創薬支援等多くの企業と提携、AIで主導権を握りつつある。

□ **500億ドルの追加自社株買い発表**: ジェンソンファンCEOは6月の台湾IT見本市で27年までのGPU製品計画を披露、24年の「ブラックウェル」、25年の「ブラックウェル・ウルトラ」、26年の「ルーベン」、27年の「ルーベン・ウルトラ」となる。5-7月期決算では500億ドルの追加の自社株買い(残余枠39億ドル)を発表、ブラックウェルは11-1月に収益貢献見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	121.4 (09/27)
52週高値(日付)	140.76 (24/06/20)
52週安値(日付)	39.235 (23/10/31)
時価総額	2兆9,779億ドル 423兆4931億円
株価変化率(%)	34.4 (過去6ヶ月間) 179.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	56.9 (倍)
株価売上高比率	31.0 (倍)
PBR	51.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	75.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	123.8 (%)
株式ベータ	1.80 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	0.17	0.02
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	1.19	0.02

四半期業績

2024/Q2	13,507	—	6,800	—	6,188	—	0.25	0.00
2025/Q2	30,040	122	18,642	2.7倍	16,599	2.7倍	0.67	0.01

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

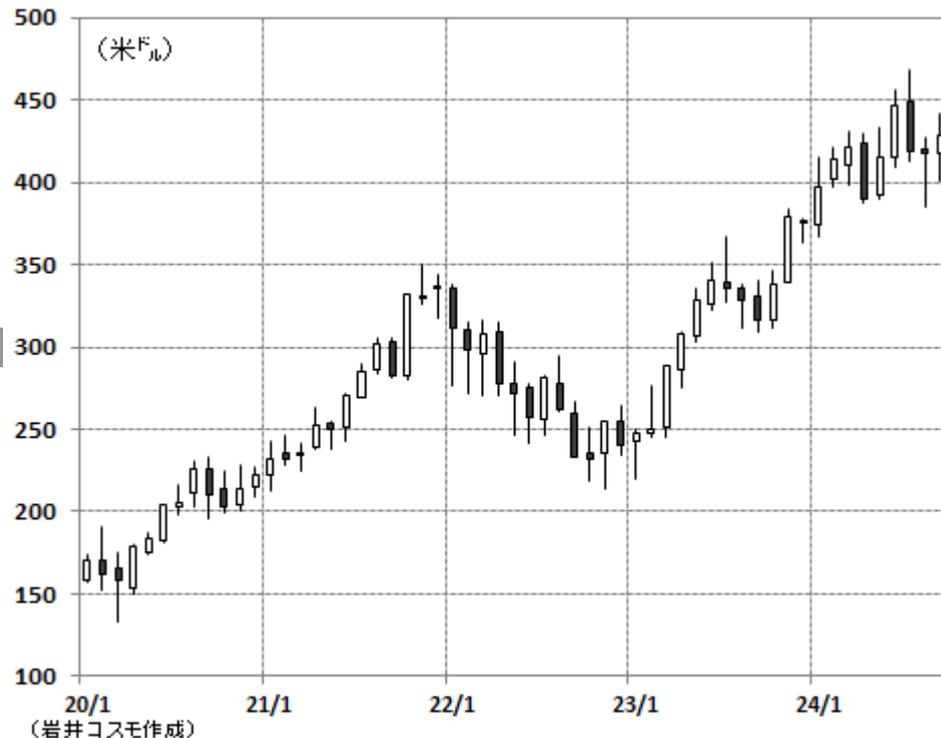
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年9月更新の「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスが開始された。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。4-6月期の「アジュール」の増収率29%のうち、8ポイントはAIサービスによるもので、寄与度が前四半期の7ポイントから拡大。会社側は今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込んでいる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	428.02 (09/27)
52週高値(日付)	468.33 (24/07/05)
52週安値(日付)	311.215 (23/10/03)
時価総額	3兆1,815億ドル 452兆4396億円
株価変化率(%)	1.7 (過去6ヶ月間) 35.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	36.2 (倍)
株価売上高比率	13.0 (倍)
PBR	11.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.78 (直近年率)
配当成長率(%)	10.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	37.1 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	56,189	—	24,254	—	20,081	—	2.69	0.68
2024/Q4	64,727	15	27,925	15	22,036	10	2.95	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□iPadとサービス収入で堅調業績: 4-6月期は前年同期比5%増収、8%最終増益。iPhone販売の小幅減収を新型iPad販売や音楽・映像・データ保管等のサービスの伸びで補った。7-9月期の増収率見通しは同5%程度(市場予想4%)。9月20日に発売開始のiPhone16は新型チップセットA18を搭載、本体側面にカメラ操作ボタンを追加、販売価格(米国)は799ドルから、初回の出荷動向に注目。

□アップル版生成AI(英語版)まもなく: 独自のAI「アップル・インテリジェンス(英語のみ)」はオープンAIのChat GPTと統合、テキスト・画像の生成、音声AIのSiri機能改善等を盛り込み10月に提供開始予定。尚開発の遅れから主要機能の追加は来年に持ち越されるとも報じられた。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	227.79 (09/27)
52週高値(日付)	237.23 (24/07/15)
52週安値(日付)	164.08 (24/04/19)
時価総額	3兆4,634億 ^{ドル} 492兆5231億円
株価変化率(%)	32.8 (過去6ヶ月間) 33.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.7 (倍)
株価売上高比率	9.1 (倍)
PBR	52.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.44 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	160.6 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/Q3	81,797	—	22,998	—	19,881	—	1.26	0.240
2024/Q3	85,777	5	25,352	10	21,448	8	1.40	0.250

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

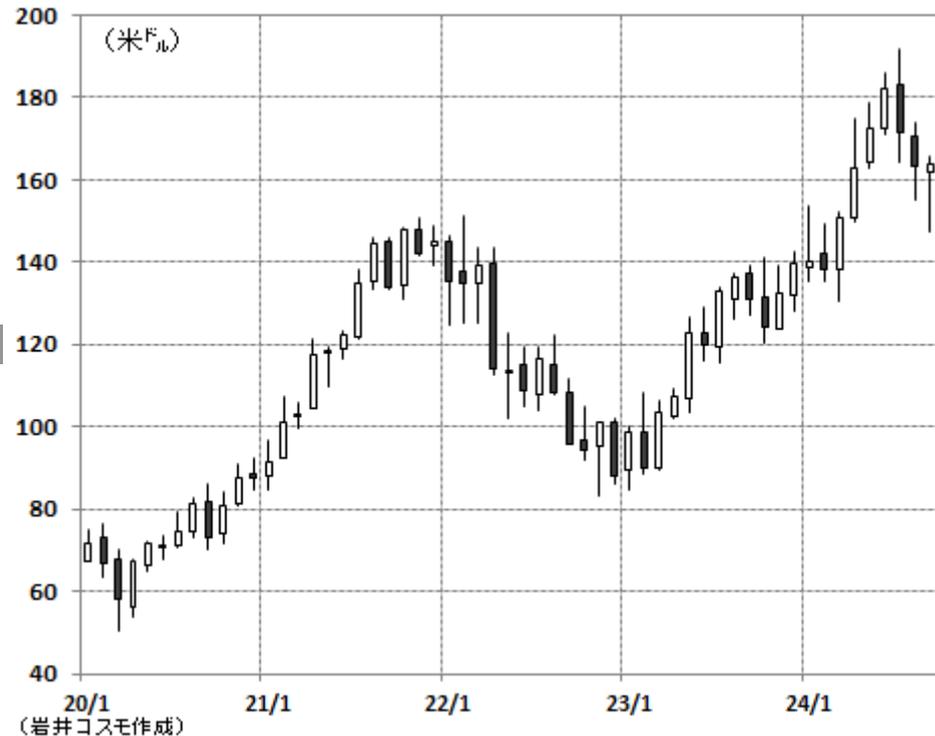
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は179,582人(24年6月末)。

注目ポイント

□**クラウド事業が拡大、ユーチューブが低調**：4-6月期決算はユーチューブ広告の成長鈍化が見られたが広告収入全体は2桁成長を維持。生成AI製品の実装が進むクラウド部門は初めて売上高100億ドル・営業利益10億ドルの大台を突破し、特に好調だった。グーグルは8月13日に初の折り畳み式スマホとなる「ピクセル9プロ フォルト」を含む、最新AI機能を搭載したスマホ「ピクセル9」シリーズを発表した。

□**司法省によるグーグル分割要求検討か**：米司法省がグーグルの検索広告の市場独占を理由に、アンドロイドやクローム事業分割や検索連動型広告アワースの売却等を求める可能性があるとして8月半ばに報じられた。正式発表はなく、決着まで何年もかかるが事業リスクとして意識された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	163.95 (09/27)
52週高値(日付)	191.75 (24/07/10)
52週安値(日付)	120.21 (23/10/27)
時価総額	2兆0,263億ドル 288兆1585億円
株価変化率(%)	8.6 (過去6ヶ月間) 25.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.2 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	6.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.49 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.9 (%)
株式ベータ	1.17 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	74,604	—	21,838	—	18,368	—	1.44	0.00
2024/Q2	84,742	14	27,425	26	23,619	29	1.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

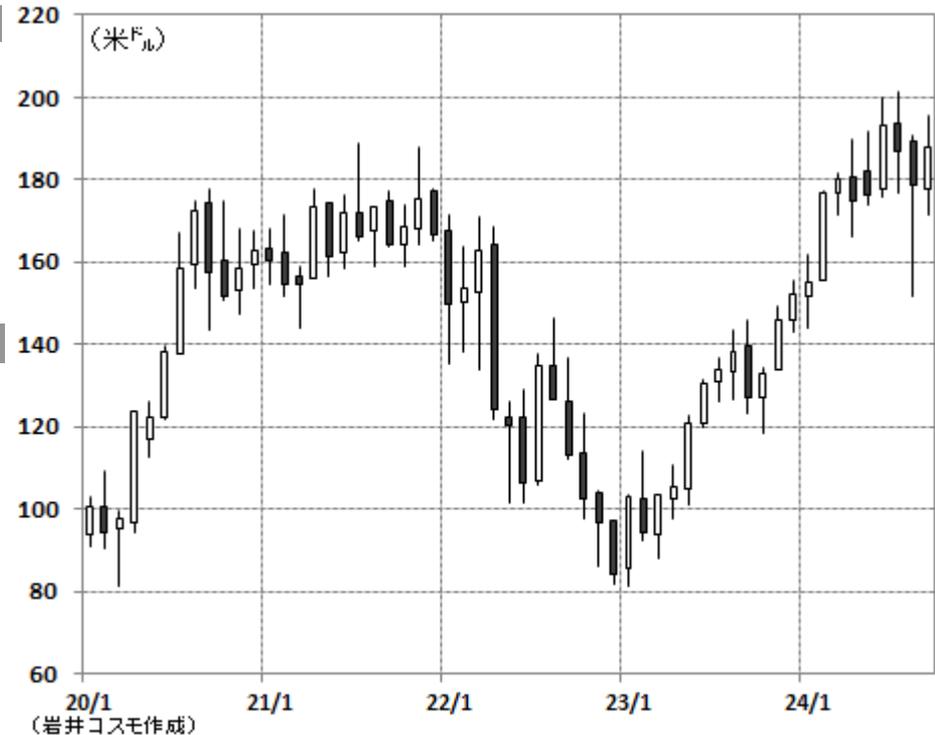
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWS加速・ネット通販も収益性改善**: 4-6月決算は前年同期比2倍の最終増益の着地。経費抑制効果が一巡する中、企業の成長AI利用拡大も追い風にAWS(クラウド)事業の売上成長・再加速と高い利益率を維持が貢献。小売事業は売上がやや低調も配送効率の改善、海外事業を黒字化させた。AWSは生成AIとAI以外もデータ処理量で強い需要が見られたとし、下期は設備投資額を増やす予定。

□ **米国の即配サービスを充実へ**: アマゾン米郵政公社に対抗、翌日・翌々日の配達サービスを全米各地の地方の農村部まで広げる計画であると報じられた。農村部近郊で自動化した配送センターの開設を進め、最終的に米国内顧客の9割前後の自前配送を目指している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	187.97 (09/27)
52週高値(日付)	201.2 (24/07/08)
52週安値(日付)	118.35 (23/10/26)
時価総額	1兆9,729億ドル 280兆5592億円
株価変化率(%)	4.2 (過去6ヶ月間) 47.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	44.1 (倍)
株価売上高比率	3.2 (倍)
PBR	8.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.9 (%)
株式ベータ	1.28 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	134,383	—	7,681	—	6,750	—	0.65	0.00
2024/Q2	147,977	10	14,672	91.0倍	13,485	100	1.26	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々30億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

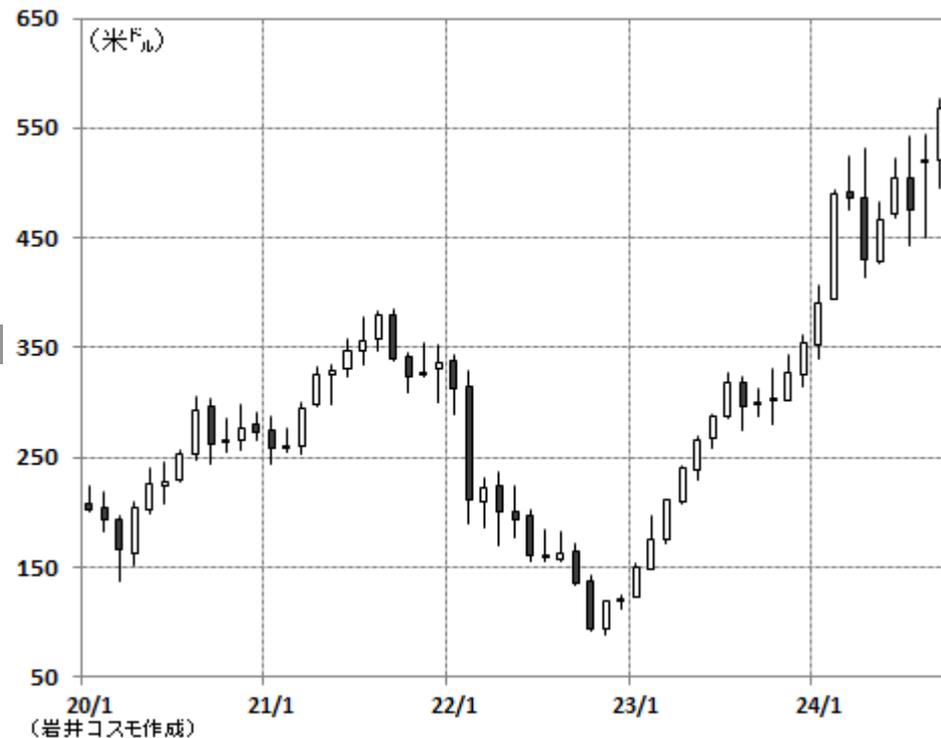
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラムなども含む)は全世界で32.7億人(24年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約70,799人(24年6月末時点)。

注目ポイント

□ 広告収入の好調維持: 4-6月期の前年同期比・増収率は+22%と好調維持。短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。またフェイスブックの若年層の利用の増加や旧ツイッター-似のストレス月間稼働利用者2億人超えも明らかにした。

□ 最新AI機能を発表: 9月の年次開発者会議では、米国で提供中のAIアシスタント「メタAI」の月間利用者数が4億人に達したことを公表。最新版は音声対話機能や画像対応が強化され、料理の写真をAIに送信して調理法を聞けるという。ビジネス向けでは広告主が無償AIツールを使って生成した広告が既に1500万件に上っているとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	567.36 (09/27)
52週高値(日付)	577.36 (24/09/26)
52週安値(日付)	279.49 (23/10/26)
時価総額	14,355億ドル 204兆1410億円
株価変化率(%)	16.8 (過去6ヶ月間) 89.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.5 (倍)
株価売上高比率	9.7 (倍)
PBR	9.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.35 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.4 (%)
株式ベータ	1.19 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	31,999	—	9,392	—	7,788	—	2.98	0.00
2024/Q2	39,071	22	14,847	58	13,465	73	5.16	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

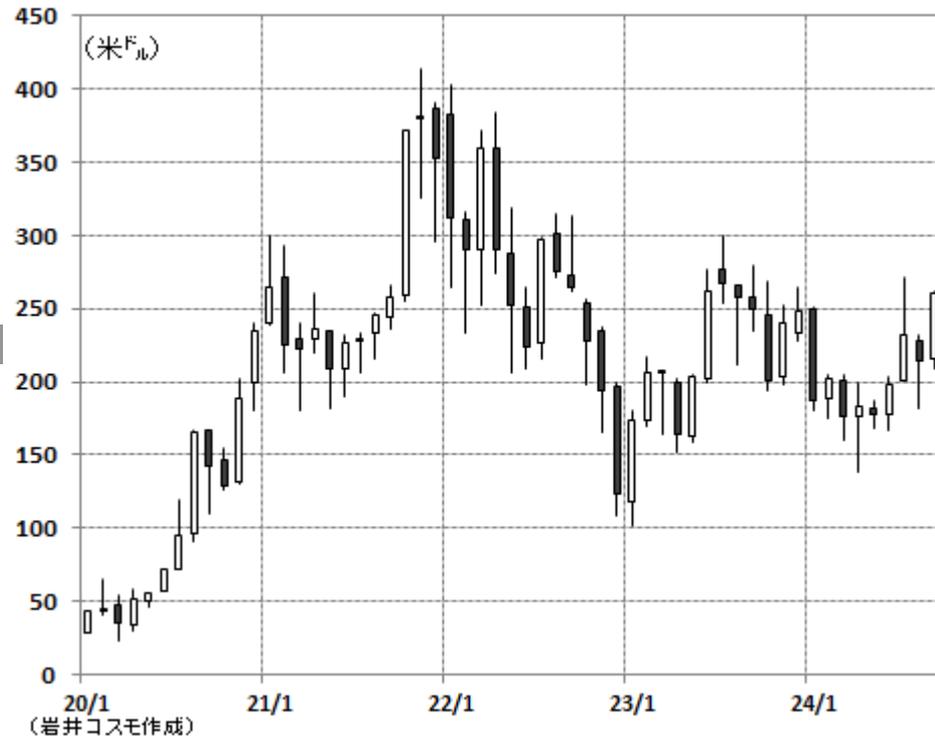
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **予想外の増収決算も利益は市場予想下振れ**: 4-6月期業績は蓄電池等のエネルギー事業やサービス収入が伸び、前年同期比7%減収の自動車事業の不振を補った。一方、1株利益は4四半期連続で市場予想に下振れた。24年度の納車台数は前期比で大きく減る見込みだが、7-9月期に再び増産に転じる計画。

□ **ロボタクシー構想、人型ロボット**: 10月10日に自動運転タクシーに関するイベントを映画スタジオで開催予定。技術面と当局承認のハードルの課題克服に道筋を付けたのか注目。自社工場で既に稼働する人型ロボット「オプティマス」は、2026年の量産化・外部販売を計画する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	260.46 (09/27)
52週高値(日付)	270.93 (24/07/11)
52週安値(日付)	138.82 (24/04/22)
時価総額	8,321億 ^{ドル} 118兆3295億円
株価変化率(%)	48.2 (過去6ヶ月間) 4.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	130.0 (倍)
株価売上高比率	8.7 (倍)
PBR	12.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.1 (%)
株式ベータ	1.68 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	24,927	—	2,399	—	2,703	—	0.78	0.00
2024/Q2	25,500	2	1,605	-33	1,478	-45	0.42	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症薬に脚光

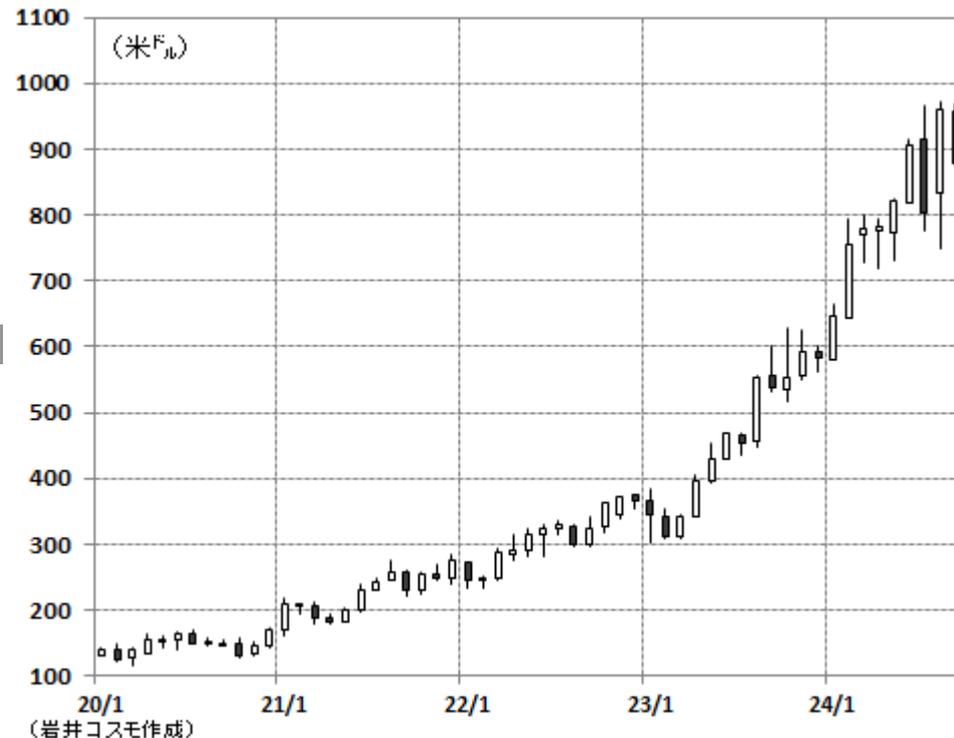
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で脚光、新薬開発も充実**: 2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「セブパウト」が業績のけん引役。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。4-6月決算で増産体制を整備し、欠品状態は一時的に解消と発表。肥満症治療薬では注射剤の「レタルトルチド」と経口タイプの「オルフォルグリブロン」も開発中。7月にアルツハイマー型認知症薬「キンスラ」が米FDAの新薬承認を獲得した。

□ **肥満症の心不全患者の適応拡大へ**: 「セブパウト」を使用した心不全患者の健康状態が改善した治験結果を受けて、肥満症の心不全患者対象の適応拡大を米FDAに24年下期に申請予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	877.79 (09/27)
52週高値(日付)	972.24 (24/08/27)
52週安値(日付)	516.71 (23/10/03)
時価総額	8,343億 ^{ドル} 118兆6421億円
株価変化率(%)	12.8 (過去6ヶ月間) 63.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	71.9 (倍)
株価売上高比率	20.3 (倍)
PBR	61.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.59 (直近年率)
配当成長率(%)	15.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	59.6 (%)
株式ベータ	0.66 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	8,312	—	2,089	—	1,763	—	1.95	1.13
2024/Q2	11,303	36	3,517	68	2,967	68	3.28	1.30

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。24年3月に新型「ダ・ビンチ5」の医療機器認証を獲得

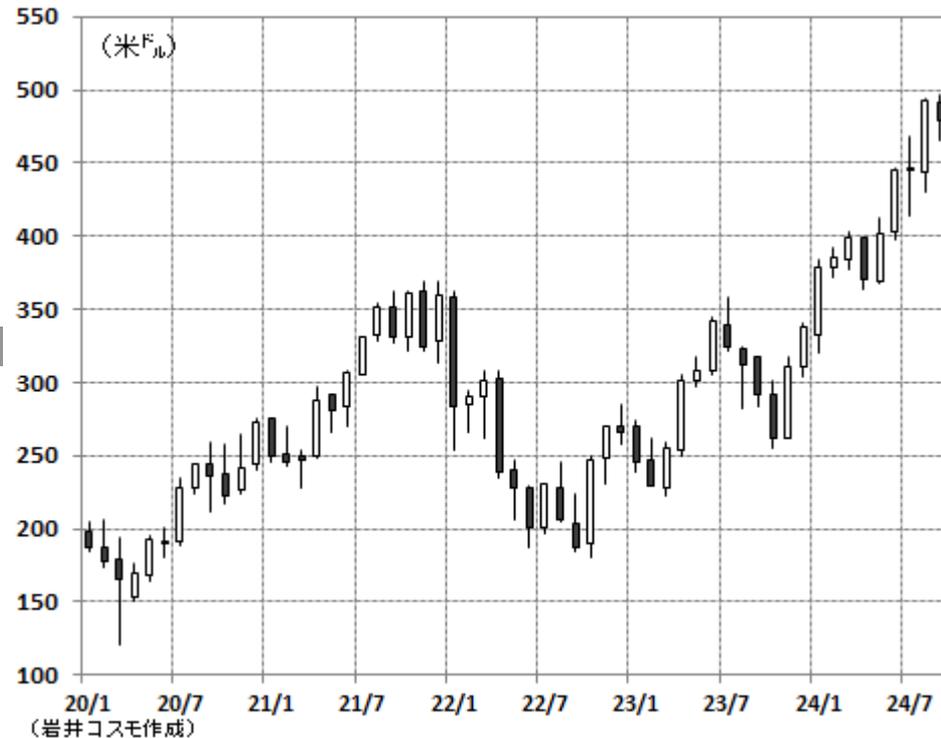
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。24年6月末の稼動状況は、全世界で9,203台。23年度の全世界の手術件数実績は約229万件。日本の病院でも同社ロボット手術が普及、約600台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。24年3月に「ダ・ビンチ5」のFDA認証を獲得。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **肥満外科手術の減少を相殺し拡大続く**: 4-6月期は前年同期比14%増収・22%営業増益。新型「ダ・ビンチ5」を70台出荷した。手術件数の伸びは同17%増を記録、肥満症薬の普及で肥満外科手術が同1桁台半ばに減少も、ヘルニア修復等の一般外科手術が伸びた。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	479.18 (09/27)
52週高値(日付)	496.18 (24/09/13)
52週安値(日付)	254.88 (23/10/30)
時価総額	1,703億ドル 24兆2,153億円
株価変化率(%)	20.1 (過去6ヶ月間) 63.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	82.2 (倍)
株価売上高比率	22.3 (倍)
PBR	11.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.7 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00
2023/12	7,124	14	1,767	12	1,798	36	5.03	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	1,756	—	463	—	421	—	1.18	0.00
2024/Q2	2,010	14	567	22	527	25	1.46	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンク傘下の半導体設計技術会社、スマホ以外の市場でシェア拡大

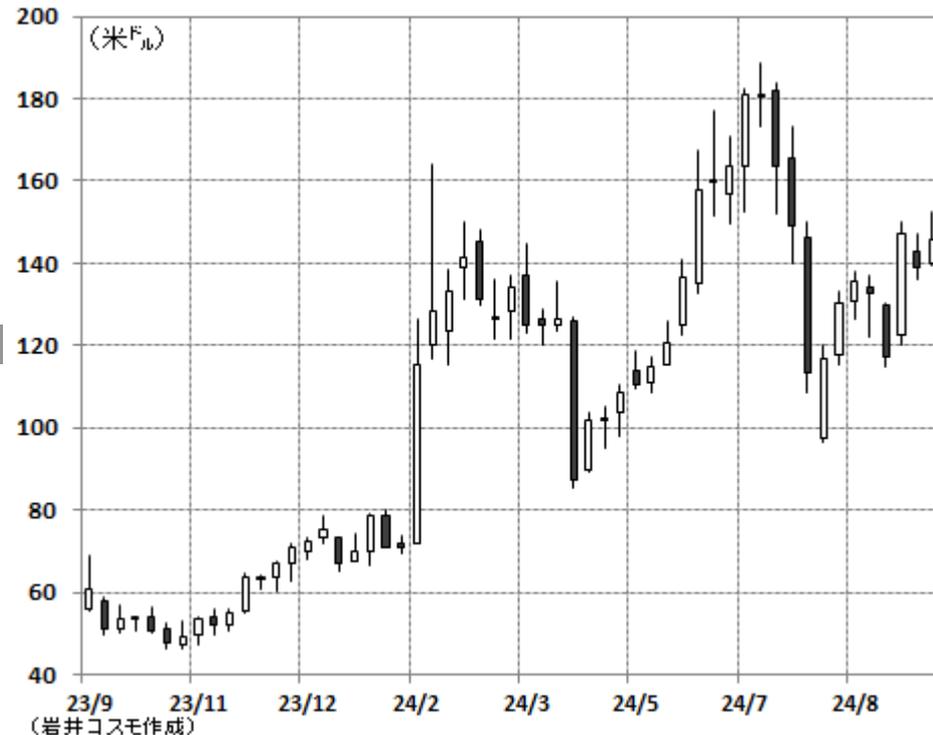
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサ-の設計技術を世界中の半導体メ-カ-等にライセンス提供。パソコン、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器などの様々な半導体に同社設計の回路が使用されている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。創業は1990年、2016年にソフトバンクGが同社を買収(現在9割保有)、2023年9月にナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□**省電力半導体設計に強み**：プロセッサ-の電力効率の高さが強みで自動車やサーバ-/クラウド/IoT向けでも採用が拡大。22年の市場シェアはスマホ向けCPUで99%とほぼ独占、クラウドデータ向けでも20年の7.2%から10.1%へ上昇、特にエヌビディア製CPUやアマゾンやマイクロソフト、アルファベットの自社製半導体でもア-ムの技術が活用され、今後の成長に寄与する見込み。

□**最新の設計仕様ほど使用料高く**：AI(人工知能)の演算処理など高性能化に伴い、ア-ムが定めた1個の半導体製造に係る設計仕様(アーキテクチャ-)の利用料も上昇。今期・増収率を+18~27%とし、また来26・翌27年度の2割増収が可能との見方を5月に示した。



株価チャート(上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	145.58 (09/27)
52週高値(日付)	188.74 (24/07/09)
52週安値(日付)	46.51 (23/10/20)
時価総額	1,526億ドル 21兆6,967億円
株価変化率(%)	16.5 (過去6ヶ月間) 172.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	351.6 (倍)
株価売上高比率	43.0 (倍)
PBR	26.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/03	2,679	-1	671	6	524	-5	0.51	0.00
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q1	675	—	111	—	105	—	0.10	0.00
2025/Q1	939	39	182	64	223	112	0.21	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**： 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□ **AI半導体需要の強さを確認**： データセンター投資の活発化を背景に第3四半期ではAI半導体売上の好調を確認、カスタムAIアクセラレータが前年同期比3.5倍、高速イーサネットスイッチ向けが同4倍以上、光通信用向けが同3倍の売れ行きだった。今年度のAI半導体の売上高見込みは120億ドルと、従来比10億ドル増額修正された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	172.69 (09/27)
52週高値(日付)	185.162 (24/06/18)
52週安値(日付)	80.893 (23/10/03)
時価総額	8,066億ドル 1,14兆7,012億円
株価変化率(%)	30.3 (過去6ヶ月間) 107.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	67.9 (倍)
株価売上高比率	16.6 (倍)
PBR	12.3 (倍)
税前配当利回り(%)	1.23 (直近年率)
配当成長率(%)	14.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.6 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	33,203	21	14,225	67	11,223	74	2.65	1.640
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840

四半期業績

2023/Q3	8,876	—	3,856	—	3,303	—	0.77	0.460
2024/Q3	13,072	47	3,788	-2	-1,875	赤転	-0.40	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

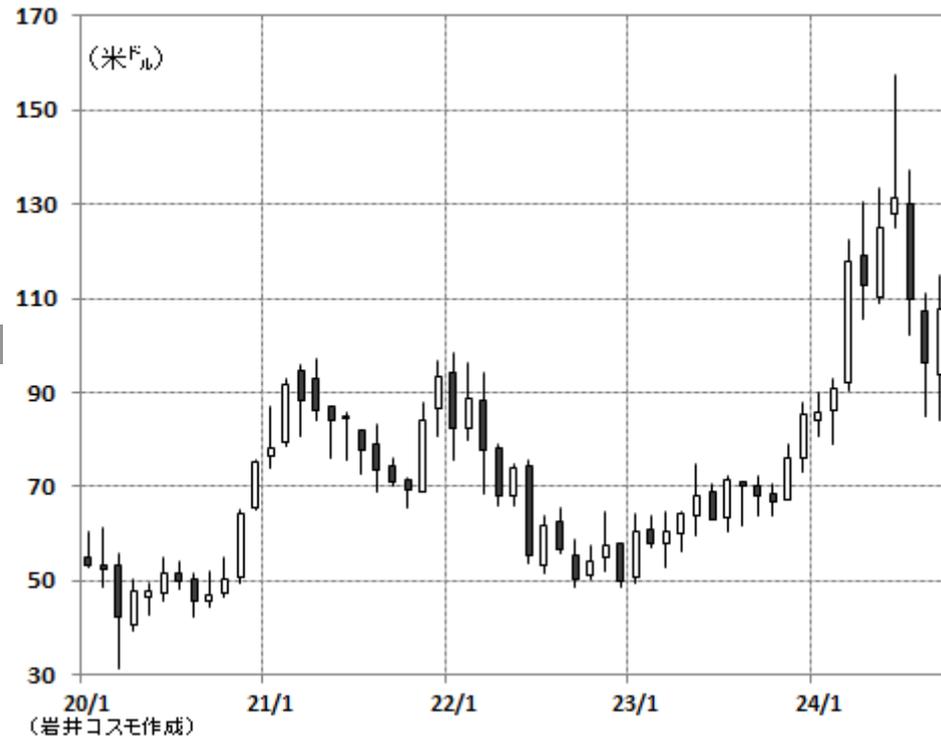
会社概要

1978年設立の半導体メモリ製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリ、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(24年度)はDRAMが70%、NANDフラッシュ29%、その他1%。DRAMは省電力型の半導体メモリ。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

□ **超高速メモリを量産開始、エヌビディアに納入**：2月に超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリ)の量産化を開始、エヌビディアのAI用GPUと共に使用され、24年・25年分の製造分の売却先が決まり、需給逼迫から価格を引き上げ、長期の保証付き契約を確保している。

□ **収益大幅改善**：メモリ市況はコロナ特需の反動から需給バランスが崩れ価格低迷したが生産調整の後、23年後半に価格が回復。24年8月期はHBMの生産も寄与し最終黒字に転じた。25年8月期はHBMの数十億の売上を含む、大幅増収と収益改善を想定。PCやスマホのAI機能搭載がメモリ需要を喚起し、追い風との見方を示した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	107.5 (09/27)
52週高値(日付)	157.52 (24/06/18)
52週安値(日付)	63.875 (23/10/26)
時価総額	1,192億ドル 16兆9,515億円
株価変化率(%)	-8.8 (過去6ヶ月間) 58.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	157.5 (倍)
株価売上高比率	4.7 (倍)
PBR	2.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.43 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	1.7 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	4,010	—	-1,472	—	-1,430	—	-1.31	0.115
2024/Q4	7,750	93	1,522	黒転	887	黒転	0.79	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

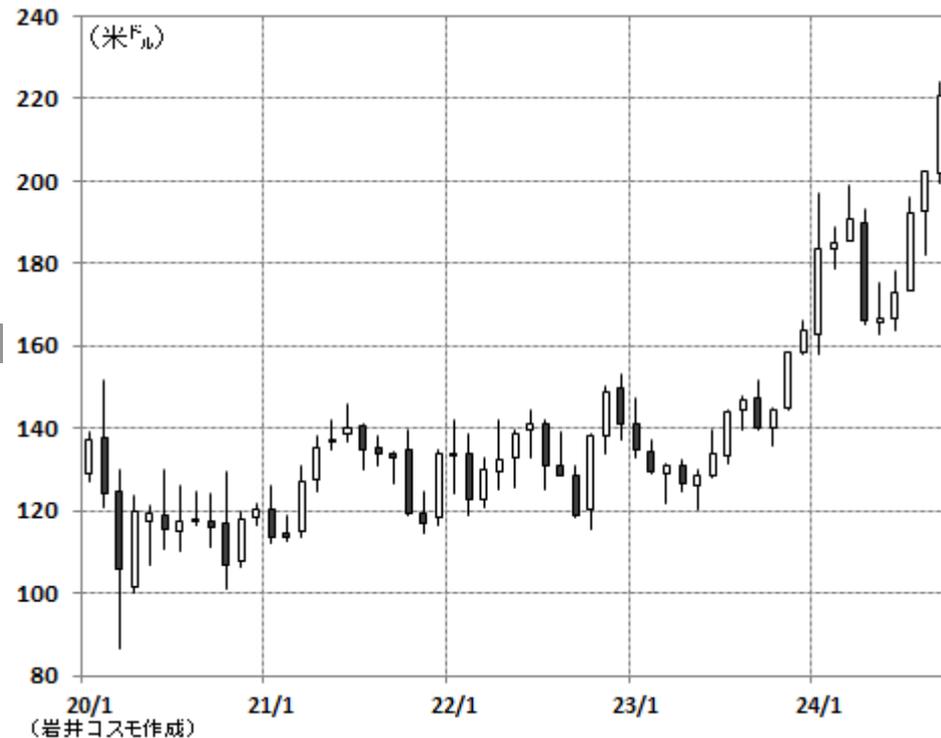
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□**ハイブリッドクラウドとAIを強化**: 2019年にオープンソースソフト大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」とAI(人工知能)等の分野に経営資源のシフトを図った。日本の次世代半導体量産化を目指す、ラピダスにはIBMが半導体の技術供与している。

□**M&Aを通じてクラウド・サービスを強化**: IBMはクラウドインフラを管理するソフトウェアを手掛けるハシコブを64億ドルで4月に買収すると発表、年内取得完了を見込む。複雑化したクラウド環境に対応してコンサルから運用等まで包括的なクラウドサービスを提供する狙いがある。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	220.84 (09/27)
52週高値(日付)	224.14 (24/09/27)
52週安値(日付)	135.87 (23/10/23)
時価総額	2,034億 ^{ドル} 28兆9,293億円
株価変化率(%)	15.6 (過去6ヶ月間) 57.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.6 (倍)
株価売上高比率	3.2 (倍)
PBR	8.5 (倍)
税前配当利回り(%)	3.03 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.5 (%)
株式ベータ	0.77 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63

四半期業績

2023/Q2	15,475	—	2,000	—	1,583	—	1.72	1.66
2024/Q2	15,770	2	2,219	11	1,834	16	1.96	1.67

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

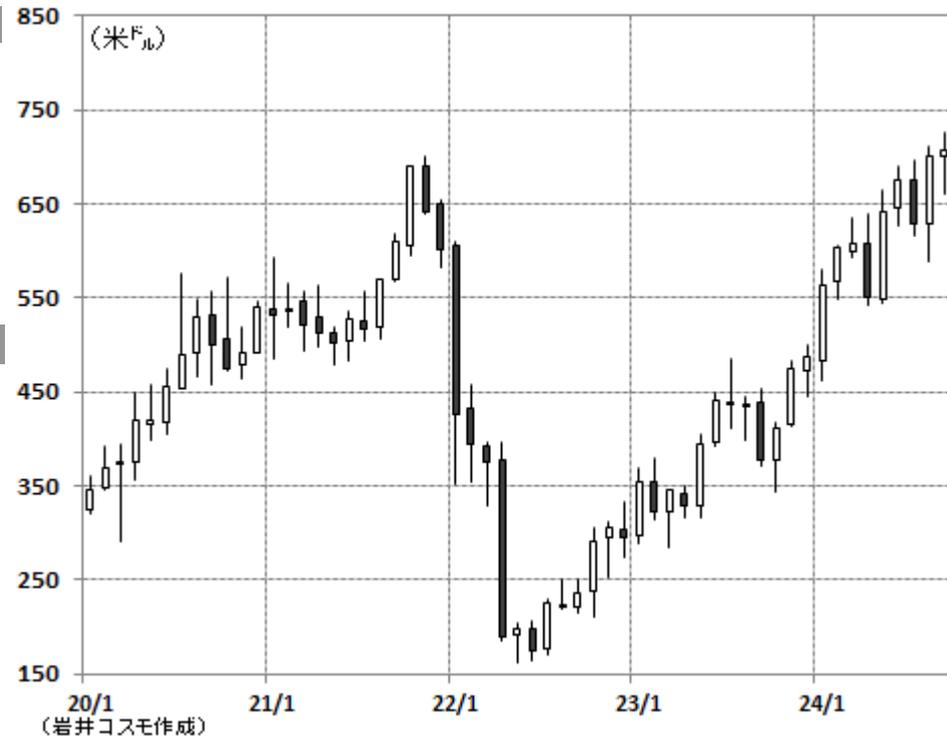
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年6月末時点の会員数は全世界で約2.78億人。

注目ポイント

□ **広告販売強化**: 5月半ばに広告付きプランの会員数が4,000万人に達したことを公表、4-6月期は提供地域の新規契約の約半分を占めた。同社は広告配信の提携先にマイクロソフトを選択したが、今後トレードデスクやグーグルも加わる。25年末までに自社開発した広告配信技術を実装し広告主に直接、宣伝効果の測定を提供する予定。

□ **アカウント共有の厳格対処がユーザ数の増加要因に**: ネットフリックスでは1億人程度が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化。上記措置と広告付きプラン効果で、4-6月期の会員純増数は805万人と1-3月期の933万人に続き高水準を維持。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	707.35 (09/27)
52週高値(日付)	725.25 (24/09/26)
52週安値(日付)	344.73 (23/10/18)
時価総額	3,036億ドル 43兆1,706億円
株価変化率(%)	16.5 (過去6ヶ月間) 87.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	44.7 (倍)
株価売上高比率	8.5 (倍)
PBR	13.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.6 (%)
株式ベータ	1.41 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
四半期業績								
2023/Q2	8,187	—	1,827	—	1,488	—	3.29	0.00
2024/Q2	9,559	17	2,603	42	2,147	44	4.88	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

南米拠点の電子商取引・決済サービス大手、独自の経済圏を構築

会社概要

1999年設立の中南米最大の電子商取引会社。B2CやC2Cの電子商取引サイト「Mercado Libre(スペイン語で自由な市場)」を運営。中南米中心に世界18カ国に拠点。地域別売上構成比(23年度)はブラジルが53%、アルゼンチンが22%、メキシコが21%、その他が5%。23年度の利用者数は2.18億人。電子商取引以外に決済サービスの「メルカドパゴ」、配送事業、個人事業主を対象の金融事業等も手がける。

注目ポイント

□ **独自の経済圏を構築**: メルカドリブレは電子商取引業を祖業とするが、アマゾンやペイパル等の米国大手を見習って自前の配送システムを構築したり、直接仕入れ販売型の事業に参入したり、またスマホ上で完結できる決済サービスはネット上以外に実店舗決済まで拡大するなど、南米で独自の経済圏を構築してきた。近年はクレジットカードの与信を含むフィンテック事業の金融収益も業績拡大に寄与している。

□ **黒字化・現金収支も改善**: 競合に打ち勝って規模・範囲の経済性を発揮し、22年以降に最終黒字体質に変貌。現金収支でも安定的にフリーキャッシュフローの黒字を創出できる強固な財務体質となった。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	2064.71 (09/27)
52週高値(日付)	2157.63 (24/09/19)
52週安値(日付)	1141.04 (23/10/23)
時価総額	1,047億 ^{ドル} 14兆8,859億円
株価変化率(%)	36.6 (過去6ヶ月間) 62.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	74.6 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	28.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	47.4 (%)
株式ベータ	1.28 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	10,537	49	1,034	135	482	5.8倍	9.53	0.00
2023/12	14,473	37	1,823	76	987	105	19.46	0.00

四半期業績							
決算期	売上高	営業利益	当期利益	1株利益	配当		
2023/Q2	3,585	669	262	5.16	0.00		
2024/Q2	5,073	726	531	10.48	0.00		

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

天然ガス等のパイプライン運営企業、電力源としての天然ガス需要増に期待

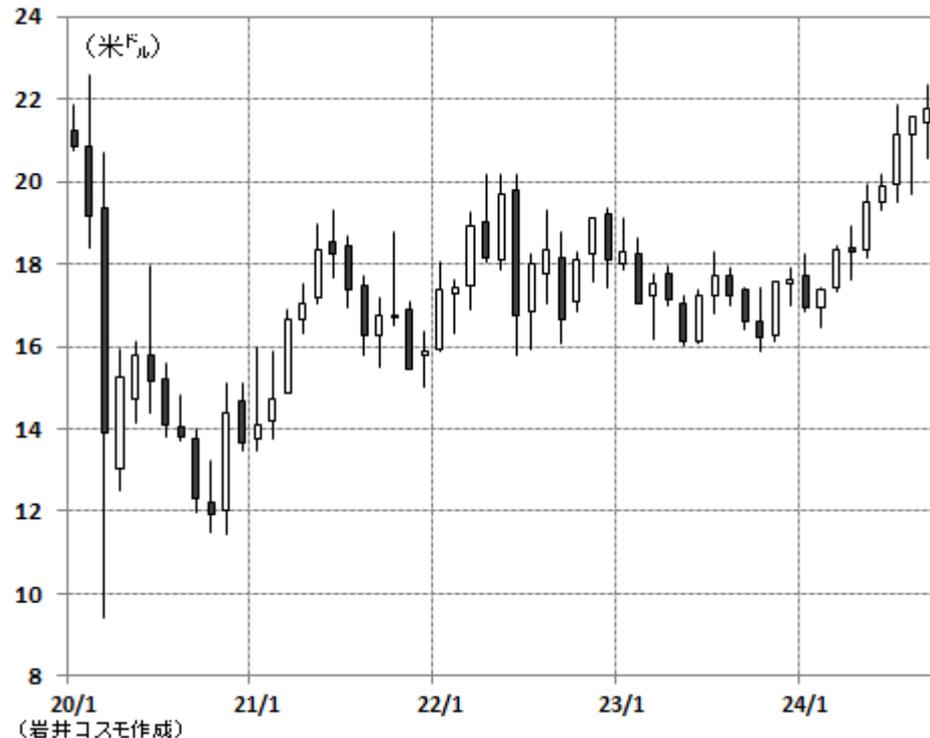
会社概要

北米最大級のエネルギー・インフラ企業。収入の約6~7割を天然ガス用パイプラインの運営から得る。他石油化学製品のパイプライン運営、貯蔵用施設の管理等、中流事業に従事。23年末時点で総延長4.4万マイル(約7万km)のパイプラインを保有。コスト抑制・安全操業・環境配慮の同時実現しながら株主価値を高め、株主還元することを標榜。本社はテキサス州ヒューストン、従業員数は10,891人(23年末時点)。

注目ポイント

□**天然ガス需要増を楽観視**: 天然ガス価格は低迷するが、会社側はAIの運用やデータセンター向けの電力源として天然ガス需要が高まっていると楽観視。天然ガス・パイプラインの需要は増加基調を辿り、2030年にかけてLNG輸出需要が現行水準から2倍に増え、メキシコ向け輸出も50%超増加すると予測。6月末時点のプロジェクト受注残は3月末の33億ドルから53億ドルに急増した。

□**トランプ氏の政策で恩恵享受**: トランプ前大統領は掘削許可プロセスを緩和、天然ガス・パイプラインの新設を奨励、化石燃料の生産量を増やすことを目指している。同社にとってトランプ氏の大統領返り咲きは、規制緩和を通じて事業拡大しやすくなることが期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	21.79 (09/27)
52週高値(日付)	22.33 (24/09/24)
52週安値(日付)	15.895 (23/10/04)
時価総額	484億ドル 6兆8,776億円
株価変化率(%)	18.8 (過去6ヶ月間) 31.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	20.8 (倍)
株価売上高比率	3.2 (倍)
PBR	1.6 (倍)
税前配当利回り(%)	5.28 (直近年率)
配当成長率(%)	1.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.0 (%)
株式ベータ	0.63 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	19,200	16	4,065	39	2,548	43	1.12	1.11
2023/12	15,334	-20	4,263	5	2,391	-6	1.06	1.13

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	3,501	—	1,030	—	586	—	0.26	0.2825
2024/Q2	3,572	2	1,038	1	575	-2	0.26	0.2875

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。